

勝利を手にするのは

団長たちの決意

翌 檜 新聞



志 寛 録

第8号
2019.9.20
第73代
伊敷中生徒会



体育大会に向けて

9月22日(日)に令和初の体育大会が行われます。これまで暑い中、全校生徒で体育大会の練習に励んできました。また、それにもまして応援団は朝、昼、放課後と、日々練習に取り組んできました。体育大会を目前にし、各団を率いてきた団長に思いをインタビューしました。

Q1 応援団になっただけで、Q2 どんな体育大会にしたいか
Q3 全校生徒に一言

白組団長 三年一組 加世田陽日樹さん

Q1 昨年応援団を務めました。そのとき、かっこよく、優しい団長に憧れて今年自分が団長になりたいと思いました。

A2 自分たちはもちろん

見に来てくださった人、支えてくださった人など、全ての人に感謝できる体育大会にしたいです。

A3 最高の体育大会を全員で創り上げていきましょう。



それぞれの団を率いてきた団長

A1 最初は副団長に立候補しましたが、先生に団長を進められて頑張ってみようと思いました。

A2 令和初の体育大会です。中学校生活最後の体育大会となる三年生は、もちろん、一、二年生、教育実習生、見に来てくれた方全員の方に、残る体育大会にしたいです。

A3 みんなで協力して最高の体育大会をつくりましょう！

いよいよ体育会本番です。伊敷中生全員の気持ちを一つに思い出に残る体育大会にしていきましょう。

(吉住 月那・吉屋 里紅)

徳の交わり〜鶴岡訪問を終えて

僕は、夏休みに「中学生鶴岡市親善使団」という企画のもと山形県鶴岡市を訪問しました。なぜ鶴岡へ訪問したかという鶴岡市と鹿児島市は兄弟都市だからです。

鶴岡市とのつながりは、戊辰戦争までさかのぼります。戊辰戦争で庄内藩(鶴岡)と薩摩藩(鹿児島)は敵と味方でした。戊辰戦争の勝者は新政府軍。つまり薩摩藩側が勝利します。勝者である薩摩藩の代表は西郷隆盛。西郷隆盛は黒田清隆に命令をし、敗者である庄内藩に寛大な処置をとり

ました。庄内藩を戦った敵ではなく、新しい時代の同胞として受け入れてくれた薩摩藩の温厚ある処置に庄内藩は大いに感銘しました。

今回の訪問ではとてもよい経験ができました。鶴岡の方と山形を巡ったり、コミュニケーション力を試したりすることができました。特に印象深かったのは、鶴岡市の中学生との交流です。二日目に鶴岡市の中学生と一日活動しました。夜にお別れをすることになると、お互いに泣き合う姿があり

(亀田周杜)

練習に励む応援団



今回の訪問ではとてもよい経験ができました。鶴岡の方と山形を巡ったり、コミュニケーション力を試したりすることができました。特に印象深かったのは、鶴岡市の中学生との交流です。二日目に鶴岡市の中学生と一日活動しました。夜にお別れをすることになると、お互いに泣き合う姿があり



鶴岡市にある「徳の交わり」の銅像

みなさんは「OKライン」という言葉を知っていますか。女子ゴルフの横峯さくらさんは一年半ぶりの優勝を挙げ、これまでの不振が嘘のように勝利を重ねていきました。その後、彼女がインタビューでよく口にしていた言葉が「OKライン」です。この言葉が横峯選手の躍進を支えた原動力になっているそうです。目標を達成するためには、「最終的なクリアライン」とその前段階の「現在の自分が確実にクリアできるライン」の二つのラインがあり、後者を「OKライン」と言っています。この「OKライン」をクリアすることで自己肯定感をもつことができ、それが自信ややる気となって、最終的なクリアラインの突破につながるのです。

よく私達も「ベストで目標の点を取りたい」というように、結果に対しての目標をたてますよね。そのときに、「OKライン」を設定してみてはどうでしょうか。今の自分が確実にクリアできる目標です。小さな達成感を積み重ねて、自己肯定感を感じていきましょう。これから、体育大会や文化祭などたくさん行事があります。練習の成果を100%発揮するにはクラスの「OKライン」を設定し、みんなで自己肯定感を得る必要もあるかもしれませんね。

(協賛 彩加)

伊敷中生徒会を盛り上げる

校内リーダー研修会

8月20日(木)伊敷中学校図書室で校内リーダー研修会が行われました。生徒会役員と一、二年生のクラスの代表

二名が参加し、研修会を行いました。

初めて出会う人たちも多いため、まずは、アイスブレイクで打ち解け合いました。次に、二つの話し合いをしま

した。充実した話し合いをするための手立てとして、用いたものが思考ツールです。思考ツールとは話し合いにおいて、よの活発に意見を出しやすいようにと考えられたものです。



思考ツールを用いながら意見を深めていく話し合いの様子

教科の授業の中でも使われており、知っている人もいると思います。

今回の話し合いでは、「ピラミッドチャート」と「ダイヤモンド・ランキング」を使用しました。

「ピラミッドチャート」を用いた話し合いは、「体育大会に新種目を加えるならどんなものがいいか」ということを

話し合いました。ピラミッドチャートでは、話し合いしながら、自分たちの考えの順序を可視化することができます。

また、「ダイヤモンド・ランキング」を用いた話し合いは、「体育大会を成功させるために大切なことは何か」について

挙げられたのは、「団結力」、「協力」、「練習量」、「体

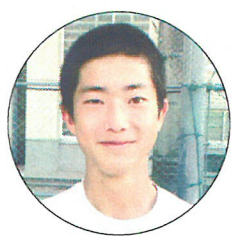
調管理」などの九つの項目です。カードを動かしながら自分たちの考えを深めていくところから見られました。

そして、最後に学習適応授業で使われる映像の撮影をしました。来年度の学習適応授業で用いられる予定です。

校内リーダー研修会に参加した二年三組の山田桃葉さんは、「話し合いの仕方にも、よ

FACE

9月11日(水)に第74代生徒会役員選挙が行われました。それぞれ思いの込められた演説をし、聴き心えのある立会演説会となりました。この立会演説会の表に立つのは、立候補者ですが、裏でサポートしてくれている人たちがいます。それが選挙管理委員です。一学期から昼休みを中心に選挙の準備や運営をしてきました。今回は、選挙管理委員を代表して、委員長の三年一組太田芳栄さんと二年一組の喜楨笙くんインタビューしました。



3年1組 太田芳栄くん

Q1 なぜ選挙管理委員に立候補したのですか。
Q2 大変だったこと、選挙管理委員をしてよかったことは何ですか。
Q3 第74代生徒会役員のみなさんへ応援メッセージをお願いします。

A1 選挙に関わりたかったからです。
A2 立候補者に配る資料をまとめる作業が大変でした。でも大変だったからこそ、達成感を得ることができました。
A3 僕も生徒会役員を経験しています。大変なことが多いと思いますが、そ



2年1組 喜楨笙くん

の苦労は報われるので、頑張ってください。

A1 先生からの推薦です。
A2 良い選挙にするための会場作りやポスター貼りが大変でした。しかし、良い選挙を行うことができて達成感を味わうことができたのでよかったです。
A3 これからの伊敷中をよりよいものにしていってください。

真剣にインタビューに答える姿から二人の選挙への熱い思いを感じました。選挙は立候補する人はもちろん、準備をする人、投票する人と様々な立場の人がいて成り立っています。そして、それはどんな活動でも同じです。それぞれの活動で自分ができるような立場に立っているのかということを考えて行動できるかと思っています。



演説を聴く選挙管理委員

編集後記

今回は、たっさんの人たちの思いを載せた号となりました。インタビューに協力してくださったみなさん、ありがとうございました。みなさんは、様々な人の思いをこのように感じたのでしょうか。また、新たな気付きはあったのでしょうか。

いよいよ白曜日は体育大会が行われます。伊敷中生全員が一丸となって、取り組むことで、体育大会の成功につながられると思います。みんなで令和初の体育大会を盛り上げていきましょう。

(宮ノ前那海)